

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市高槻町PJ 新築工事	階数	地上7F
建設地	大阪府高槻市高槻町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年11月15日
敷地面積	1,054 m ²	作成者	瀧恵美子
建築面積	403 m ²	確認日	2021年12月15日
延床面積	2,235 m ²	確認者	森聡伸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
住戸は省エネ基準を上回るZEH仕様を目指して計画し、周辺環境になじむよう建物の色彩にも配慮しました。		特にありません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
天井裏、下地、仕上げ等、F☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策に配慮しました。	階高さにゆとりを持たせ、情報通信も1Gbit対応の光ケーブルを導入しています。	建築物の色彩は周辺環境になじむように計画しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を積極的に採用し、住戸の給湯器は高効率型給湯器を採用しています。	外壁断熱材には吹付硬質ウレタンフォームA種1Hを使用し、住戸内はLGS工法により比較的容易に分別できるように計画しました。	広告照明は設置せず、屋外照明も適正な範囲となるよう計画しました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0096

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市高槻町PJ 新築工事					
	建設地	大阪府高槻市高槻町					
	用途/区分	集合住宅 病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.8	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.2	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		